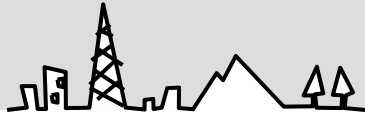


Q.1 高レベル放射性廃棄物の処理方法は？

A.1

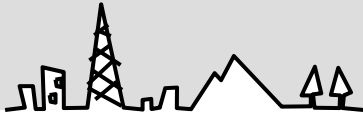
- 山名)・廃棄物処理は必ず必要。
 - ・地中処分が最も安全であるという国際認識。
 - ・技術的には問題ないが、社会との認識の共有。
- 舘野)・超ウラン元素が問題であり、プルサーマルで増加。



Q.2 CO₂削減のために必要な方策は？

A.2

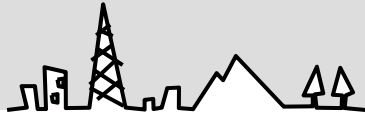
- 山名) ・計画通りの新規原子力発電所の建設。
 - ・原子炉の稼働率の向上。
 - ・再生可能エネルギーの開発。
- 館野) ・原子力の安易な増加は反対。
 - ・メリットとデメリットを考えて対応策を考えるべき。



Q.3 ・高速増殖炉は日本でできるか。
また、MOX燃料製造ができるかと
コスト比較はどうか。

A.3 山名) ・技術的には問題なし
・燃料については経済的に検討が必要

舘野) ・高速増殖炉開発には反対ではない
・技術的にはかなり難しく、現実にはコストが
高くなる

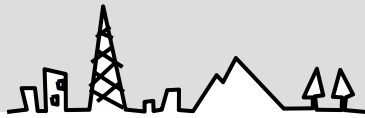


Q.4 ・MOX燃料の再処理は可能か

A.4

山名) ・現在の青森(六ヶ所)の手法でも可能。
・第二再処理工場について今後検討される

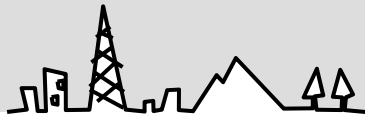
館野) ・技術的にはかなり難しい



Q.5 事故時は「5重の壁」ではないのではないか

A.5 山名) ・燃料中の放射性物質の閉じ込めが「5重の壁」の役割

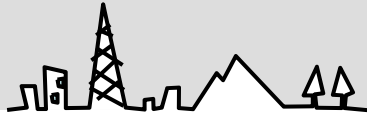
館野) ・技術的にはかなり難しい



- Q.6
- ・プルサーマルは、ウランの有効利用にならないのではないのか？
 - ・今現在の東北電力の信頼性はどうか

A.6

- 山名) ・プルサーマルは以前からあり、高速炉が遅れたからではない
- 館野) ・プルサーマルは政策的に推し進められている
- ・信頼性は重要である
- 電力) ・これまでのトラブルへは十分な対策を検討し、定着を図っているところ
- ・安全運転に努めてまいりたい



Q.7 ・核燃料サイクルは見直すべきでは？

A.7 山名) ・技術開発・改良は進められている